



認 定 書

国住指第 1699 号
令和元年 10 月 11 日

株式会社チューオー
代表取締役 市村 洋一 様

国土交通大臣

赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 62 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

DR-1981(1)

2. 認定をした構造方法等の名称

塗装鋼板・硬質ウレタンフォーム・アスファルト系ルーフィング・野地板
〔木質系ボード、セメント系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／支
持部材〔木製又は鋼製〕屋根

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



1. 構造名：

塗装鋼板・硬質ウレタンフォーム・アスファルト系ルーフィング・野地板〔木質系ボード、セメント系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根

2. 仕様の形状・寸法等

仕様の形状・寸法等を表 1 に示す。

表 1 仕様の形状・寸法等

項 目	仕 様
形状	平板葺き形状
支持部材の間隔	606mm 以下
支持部材の傾斜角度	0° 以上 70° 未満

3. 仕様の主構成材料

仕様の主構成材料を表 2 に示す。

表 2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
葺材	<p>仕様：①又は②</p> <p>①長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：301.5(±30)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～17.0(+2)mm</p> <p>②長さ：1800(-5)～10000(+5)mm 幅：309(±31)mm(有効幅：260(±26)mm) 厚さ：0.35(-0.05)～12.0(+2)mm</p> <p>質量：4.6(-0.46)～15(+1.5)kg/m²</p> <p>構成：①～③</p> <p>①表面材：塗装鋼板 厚さ：0.35～1.0mm 材料：1)～3)</p> <p>1)表面塗装：a)又はb)</p> <p>a)質量：49(+4.9)g/m²以下 有機質量：35(+3.5)g/m²以下 組成(質量%)：i)及びii)</p> <p>i)合成樹脂 85.4(+1.5)以下 材質：(1)～(6)の一、又は組合せ</p> <p>(1)ポリエステル系樹脂 (2)フッ素系樹脂 (3)ウレタン系樹脂 (4)エポキシ系樹脂 (5)ポリ塩化ビニル系樹脂 (6)ポリエチレン系樹脂</p> <p>ii)無機質系顔料(アルミ、酸化チタン等) 14.6(-1.5)以上</p> <p>b)なし</p>

つづく

つづき

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>2) 基材 : a) ~ l) の一</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321) b) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317) c) 溶融アルミニウムめっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3314) d) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3323) e) 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) f) 冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) g) 熱間圧延軟鋼板 (JIS G 3131) h) 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313) i) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定指定建築材料 : MSTL-0064、MSTL-0065、MSTL-0069、MSTL-0070、MSTL-0362、MSTL-0395) j) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) k) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304) l) 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302) <p>a) ~ l) の原板厚さ : 0.35 ~ 1.0mm</p> <p>3) 裏面塗装 : a) ~ c) の一</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 質量 : 15.3 (+1.5) g/m² 以下 有機質量 : 8.4 (+0.8) g/m² 以下 組成 (質量%) : i) 及び ii) i) 合成樹脂 55 (+4.5) 以下 材質 : (1) ~ (6) の一、又は組合せ (1) ポリエステル系樹脂 (2) フッ素系樹脂 (3) ウレタン系樹脂 (4) エポキシ系樹脂 (5) ポリ塩化ビニル系樹脂 (6) ポリエチレン系樹脂 ii) 無機質系顔料 (アルミ、酸化チタン等) 45 (-4.5) 以上 b) 質量 : 10.5 (+1.0) g/m² 以下 有機質量 : 6.3 (+0.6) g/m² 以下 組成 (質量%) : a) 及び b) i) 合成樹脂 60 (+4) 以下 材質 : (1) ~ (6) の一、又はその組合せ (1) ポリエステル系樹脂 (2) フッ素系樹脂 (3) ウレタン系樹脂 (4) エポキシ系樹脂 (5) ポリ塩化ビニル系樹脂 (6) ポリエチレン系樹脂 ii) 無機質系顔料 (アルミ、酸化チタン等) 40 (-4) 以上 c) なし
---------------------	--

つづく

つづき

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>②芯材：硬質ウレタンフォーム 厚さ：1)又は2) 1)仕様①：0(最小部)～16.5(最大部) 2)仕様②：0(最小部)～11.5(最大部) 密度：25(±3)kg/m³ イソシアネート指数：82 組成(質量%) ポリイソシアネート 59(±6) ポリエーテル系ポリオール30(±4) 水 3(±3) 難燃剤(りん酸エステル) 6(±2) 添加剤(ウレタン化触媒、製泡剤等) 2(+3、-2) ※水及び添加剤の割合が0以下となる仕様は含まない ③裏面材：1)～3)の一 1)アルミニウム蒸着紙 厚さ：0.210(±0.020)mm 質量：164(±15)g/m² 有機質量：164(±15)g/m² 構成：a)～c) a)アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート 厚さ：0.012(±0.0012)mm(張り合わせ前) 質量：16.31(±7.71)g/m²(張り合わせ前) b)中芯紙 厚さ：0.200(±0.020)mm(張り合わせ前) 質量：120(±3.6)g/m²(張り合わせ前) c)ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03(±0.004)mm(張り合わせ前) 質量：27.69(±3.692)g/m²(固形量)(張り合わせ前)</p>
---------------------	---

つづく

つづき

<p>葺材 (つづき)</p>	<p>2) アルミニウムはくラミネートクラフト紙 厚さ：0.161(±0.0187)mm 質量：137(±22.3)g/m² 有機質量：118(±20.3)g/m² 構成：a)～c) a) アルミニウムはく 厚さ：0.007(±0.0007)mm 質量：19(±2)g/m² b) クラフト紙 厚さ：0.124(±0.015)mm 質量：90(±20)g/m² c) ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.03(±0.003)mm 質量：28(±0.3)g/m²</p> <p>3) アルミニウムはくラミネート炭酸カルシウム紙 厚さ：0.23(±0.02)mm 質量：195.4(±21.3)g/m² 有機質量：90.9(±9.1)g/m² 構成：a)～c) a) アルミニウムはく 厚さ：0.007(±0.0007)mm 質量：19(±0.2)g/m² b) 炭酸カルシウム紙 厚さ：0.18(±0.02)mm 質量：135(±13.5)g/m² 有機質量：45.9(±4.6)g/m² 組成(質量%) 炭酸カルシウム 55(±4.5) パルプ 26(±2.6) ガラス繊維 11(±1.1) バインダー (アクリル樹脂系)8(±0.8) c) ポリエチレン系樹脂 厚さ：0.05(±0.005)mm 質量：45(±4.5)g/m²</p>
---------------------	---

つづく

つづき

下葺材	<p>材料：①～④のー</p> <p>①アスファルト系ルーフィング (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：940 有機質量：940g/m²以下 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>②アスファルトルーフィング1500 (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：1500 有機質量：1500g/m²以下 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>③砂付ルーフィング (JIS A 6005) 単位面積質量の呼び：3500 有機質量：2500g/m²以下 ルーフィング材質：アスファルト系 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p> <p>④改質アスファルトルーフィング 質量：1枚または2枚の合計3800(+380)g/m²以下 有機質量：3400g/m²以下 組成(質量%)：1) 及び2) 1)改質アスファルトルーフィング・ポリエステル不織布 89.5(+1)以下 (内、改質剤(スチレン系熱可塑性エラストマー)9.0以下) 2) 鉱物質 10.5(-1)以上 粘着層：1)又は2) 1)改質アスファルト系粘着剤 2)なし 上下方向重ね幅：600mm以下 左右方向重ね幅：250mm以下</p>
-----	---

つづく

つづき

野地板	仕様：(1)～(3)の一
(1) 木質系ボード	材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する普通合板 ②日本農林規格に適合する構造用合板 ③日本農林規格に適合する構造用パネル ④素地パーティクルボード(JIS A 5908) 厚さ：9mm 以上
(2) セメント系ボード	材料：①～④の一 ①木質系セメント板(JIS A 5404)：1)又は2) 1)硬質木片セメント板 厚さ：12mm 以上 2)硬質木毛セメント板 厚さ：15mm 以上 ②繊維強化セメント板(JIS A 5430) 厚さ：9mm 以上 ③パルプセメント板(JIS A 5414) 厚さ：9mm 以上 ④繊維混入けい酸カルシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8578) 厚さ：9mm 以上
(3) 火山性ガラス質複層板	材料：火山性ガラス質複層板(JIS A 5440) 厚さ：9mm 以上
支持部材	仕様：(1)又は(2)
(1) 木製下地 (たる木)	材料：①～⑥の一 ①一般製材 ②日本農林規格に適合する合板 ③日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、 構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ④日本農林規格に適合する 構造用単板積層材又は造作用単板積層材 ⑤日本農林規格に適合する枠組み壁工法構造用製材 又は構造用たて継ぎ材 ⑥日本農林規格に適合する構造用パネル 断面寸法(mm)：幅30×高さ30mm以上
(2) 鋼製下地	材料：①～⑤の一 ①軽溝型鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：60×30×1.6mm以上 ②リップ溝型鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：60×30×10×1.6mm以上 ③軽山型鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：40×40×3.2mm以上 ④軽Z型鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：75×47.7×2.3mm以上 ⑤ハット型鋼 (JIS G 3350) 断面寸法：40×56.8×1.6mm以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表 3 に示す。

表 3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
留付材	<p>仕様：①～③</p> <p>①野地板固定用：1) 又は 2)</p> <p>1) くぎ：φ1.6×L25mm 以上</p> <p>2) ねじ：φ2.9×L25mm 以上</p> <p>材質：a) 又は b)</p> <p>a) ステンレス鋼製</p> <p>b) 鋼製</p> <p>留付間隔：幅方向 606mm 以下 流れ方向 980mm 以下</p> <p>②葺材固定用：1) 又は 2)</p> <p>1) くぎ：φ1.6×L25mm 以上</p> <p>2) ねじ：φ2.9×L25mm 以上</p> <p>材質：a) 又は b)</p> <p>a) ステンレス鋼製</p> <p>b) 鋼製</p> <p>留付間隔：幅方向 606mm 以下 流れ方向 260mm 以下</p> <p>③下葺材固定用：1)～4) の一</p> <p>1) ブチルゴム系防水テープ</p> <p>質量：250g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>2) ゴムアス系防水テープ</p> <p>質量：180g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>3) アクリル系樹脂防水テープ</p> <p>質量：160g/m以下</p> <p>厚さ：2.0(+0.2)mm以下</p> <p>幅：100mm以下</p> <p>4) ステープル</p> <p>材料：a) 又は b)</p> <p>a) ステンレス鋼製</p> <p>b) 鋼製</p> <p>内幅：9.6mm 以上</p> <p>足長さ：6mm以上</p>

5. 構造説明図

仕様の構造説明図を図 1～図 5 に示す。

単位 mm

葺材横継ぎ部断面図
〈下葺材ありの場合〉

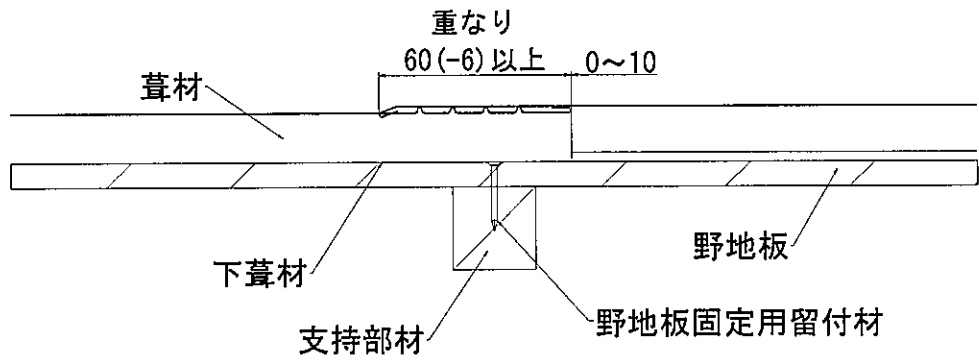
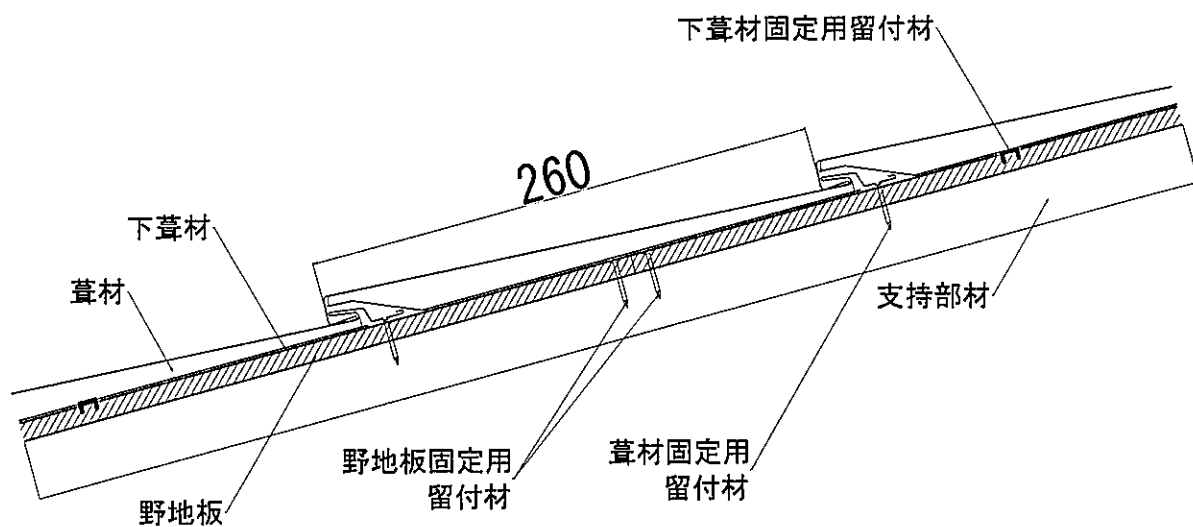


図 1 構造説明図

単位 mm

傾斜方向断面図
〈下葦材ありの場合〉

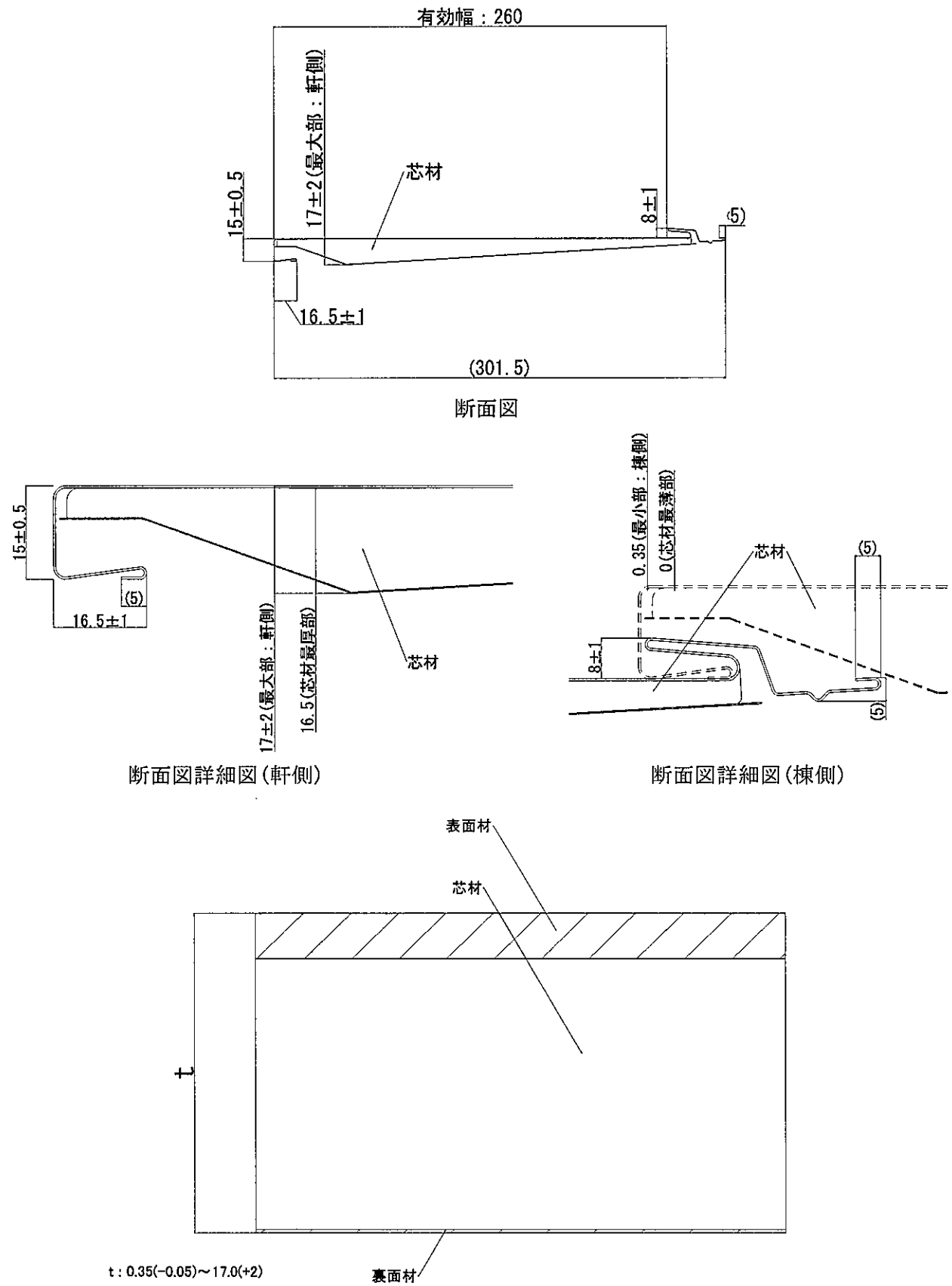


支持部材の傾斜角度：0°以上 70°未満

図 2 構造説明図

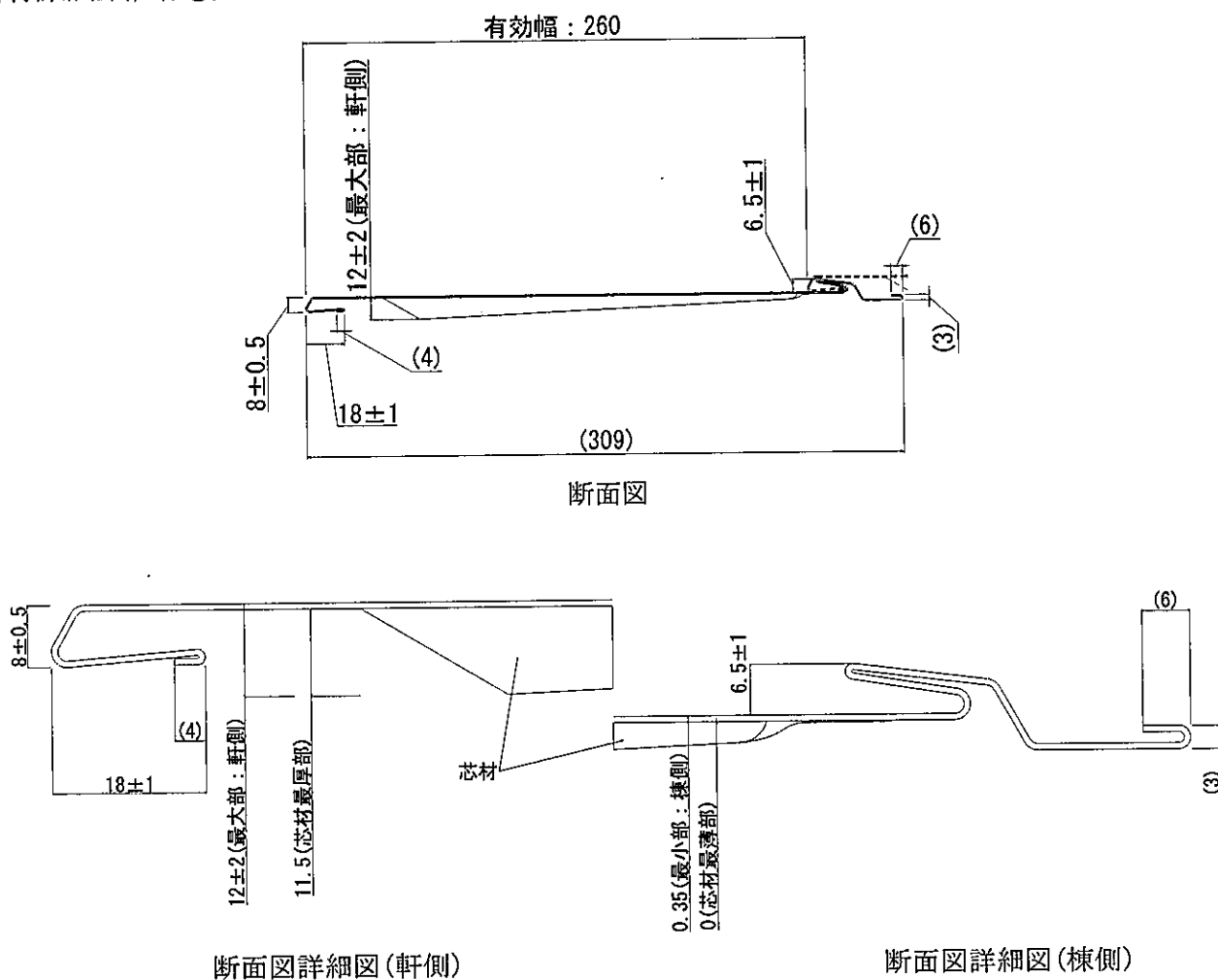
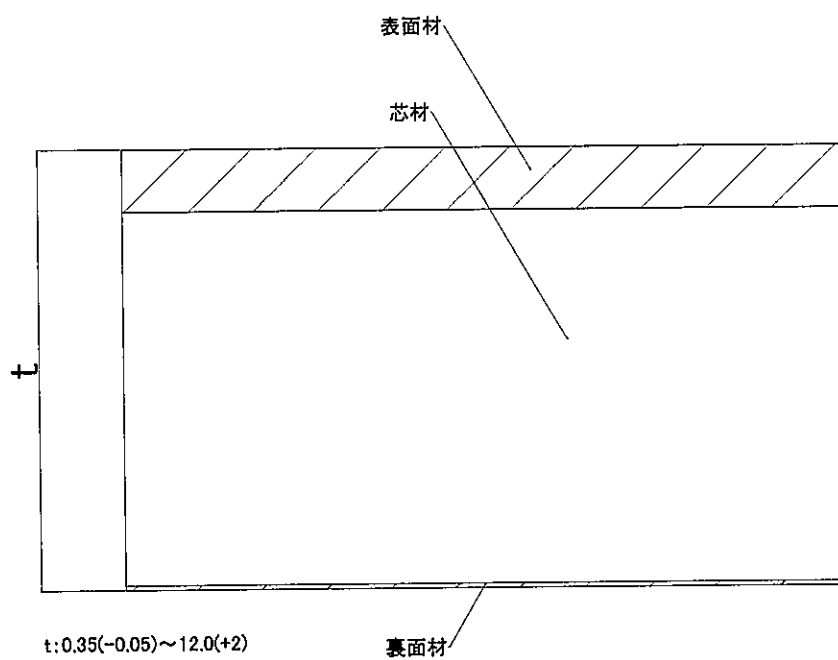
単位 mm

葺材詳細図(仕様①)



断面拡大図
図3 構造説明図

葺材詳細図(仕様②)



断面拡大図
図4 構造説明図

単位 mm

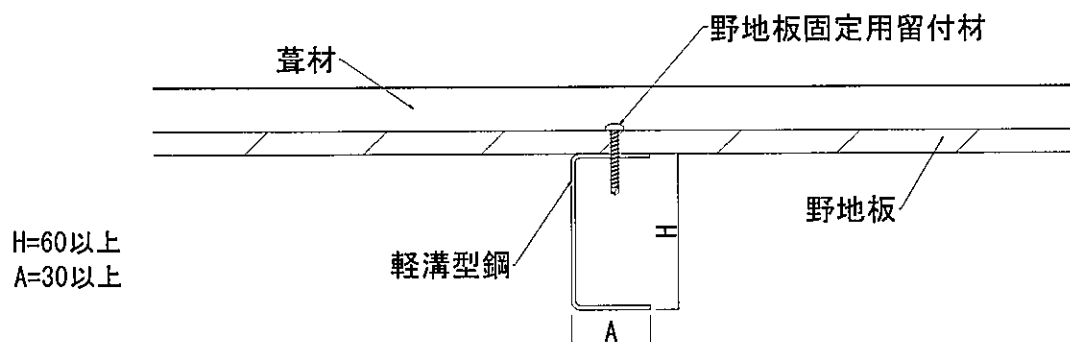
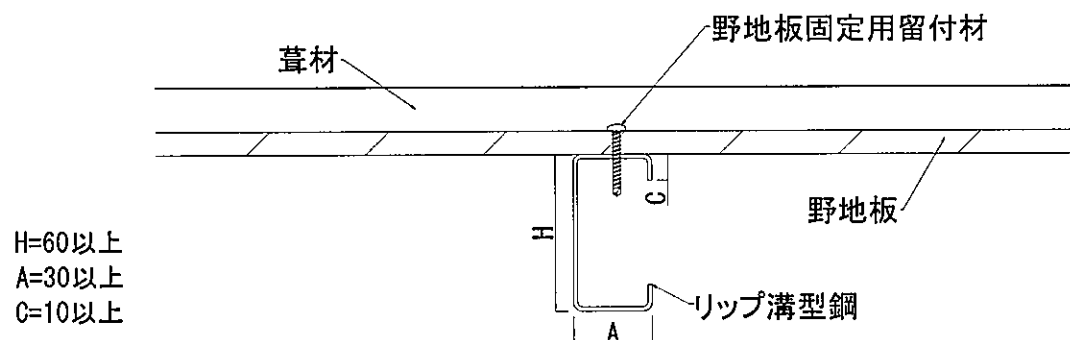
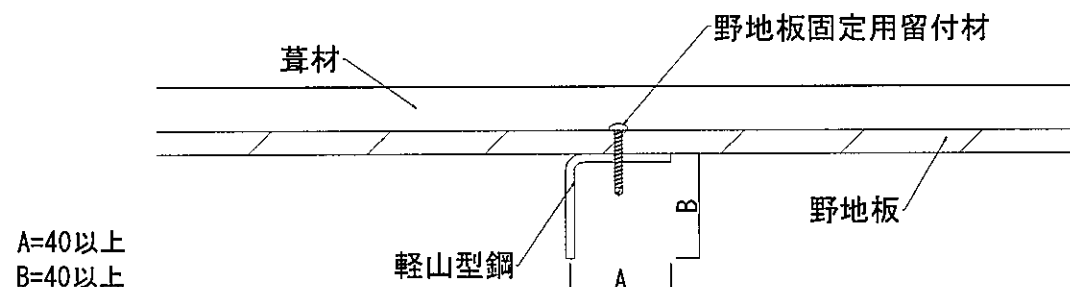
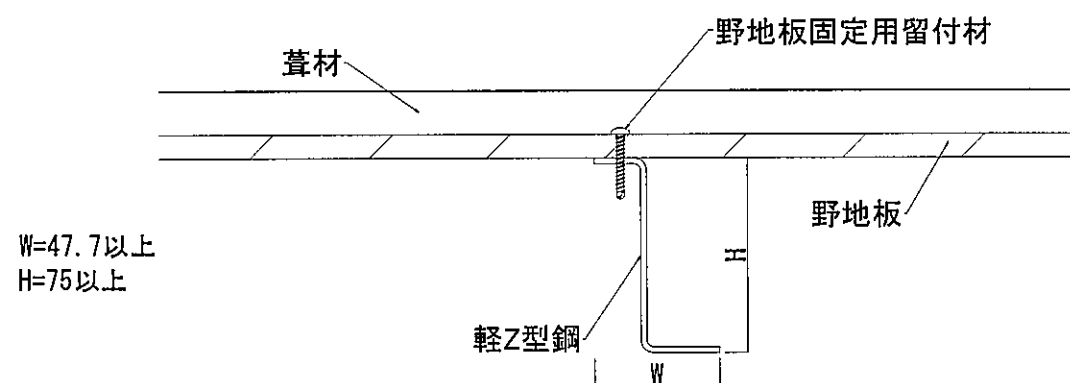
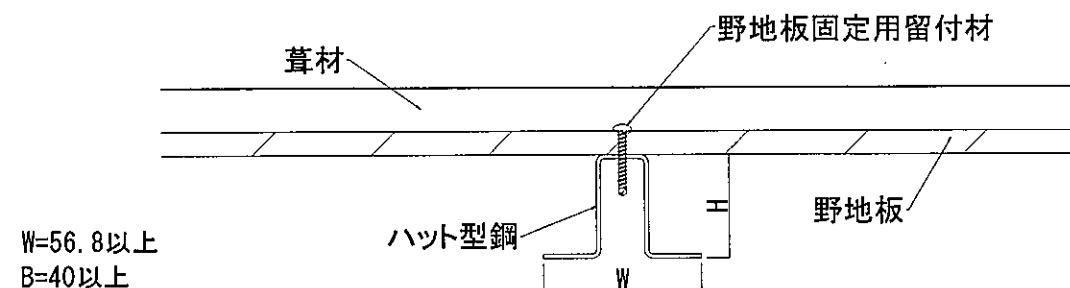


図5 構造説明図(鋼製下地断面詳細図)

6. 施工方法

申請仕様の施工図を図 6 に示す。

施工は以下の手順で行う。

1) 支持部材の取付け

支持部材を 606mm 以内の間隔で取付ける。支持部材の傾斜角度は 0° 以上、 70° 未満とする。

2) 野地板の取付け

野地板を支持部材に野地板固定用留付材を用いて取付ける。

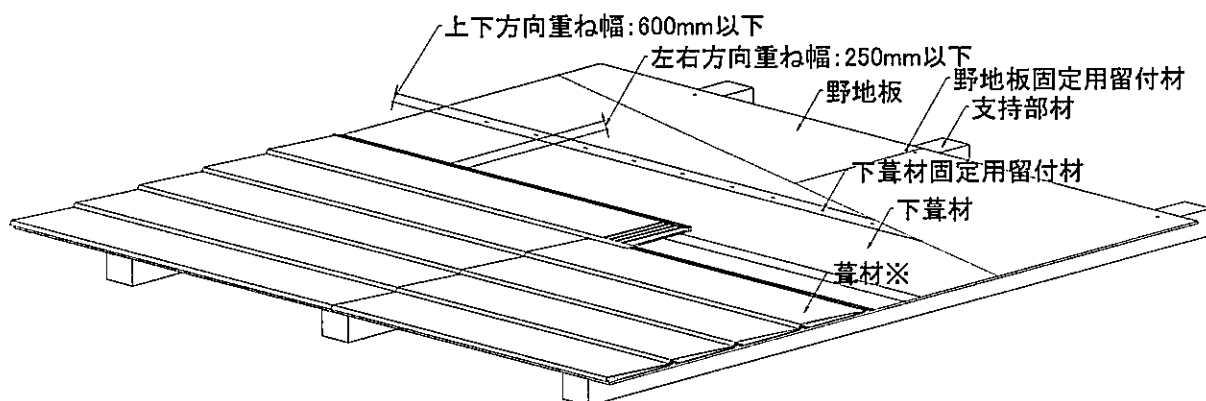
3) 下葺材の取付け(なしの場合は省略)

下葺材を野地板に下葺材固定用留付材を用いて取付ける。

4) 葺材の取付け

葺材を野地板及び支持部材に葺材固定用留付材で留付ける。

〈下葺材ありの場合〉



※千鳥で葺くこともある。

図 6 施工図